

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会 「COVID19、医療現場の真実」

(2022年4月10日 日曜日)【午後】オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得いたしております。】

2020年1月、国内初の新型コロナウイルス感染事例が報告されて以来、何度も医療現場は危機にさらされてきました。重症の患者はもちろん、酸素吸入が必要な中等症、様々な環境にある高齢感染者などを治療する臨床現場での状況について、プライマリ・ケアを目指す薬剤師が知っておくべき現状を学びます。

今回は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、ZOOMを使ったオンライン研修会とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。

(細則による必須領域:A.C.D)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会
2	研修期間	2022年4月10日(日)【午後】13:20~16:30
3	研修会場	Zoomを利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:1.5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80名(講義形式)
7	受講申込	締め切り:2022年3月25日(金)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 j pca@a-youme.jp

プログラム

2022年4月10日(日曜日)

13:20~14:50	<p>「新型コロナウイルス感染症」</p> <p style="text-align: right;">講師:大曲貴夫</p> <p>新型コロナウイルスによる感染症では、喉の痛みや微熱、倦怠感などの風邪の様な症状が1週間程度続いた後徐々によくなっていきます。しかし最大20%程度の患者さんでは、発症後1週間前後から咳や高熱が出始め肺炎になり、酸素の吸入が必要になります。そして1%の前後の患者さんが重症の肺炎になり、人工呼吸や膜型人工肺による治療必要になります。ウイルスを抑える治療としてレムデシビルがあります。炎症を抑える治療としてはステロイド薬であるデキサメサゾンや、関節リウマチの治療薬であるバリシチニブに効果があることが示されています。</p> <p>Norio Ohmagari, M.D., M.Sc., Ph.D. Director, Disease Control and Prevention Center Director, AMR Clinical Reference Center Head, WHO Collaborating Centre for Prevention, Preparedness and Response to Emerging Infectious Diseases Head, WHO Collaborating Center for Prevention, Preparedness and Response to Antimicrobial Resistance National Center for Global Health and Medicine Hospital Japan (細則による必須領域 A , C , D)</p>
14:50~15:00	<p>休憩</p>
15:00~16:30	<p>緩和ケア※コロナ※在宅~いま、私たちにできることを考える~</p> <p style="text-align: right;">講師:廣橋猛</p> <p>コロナ禍における緩和ケア病棟、在宅緩和ケアの現場では大きな変化が起きている。オンライン面会などテクノロジーによる新たな展開が見られたが、対面面会の代替になるかというところではない。さらに、面会制限のためギリギリまで在宅療養を選択されることが増えている。ただ、コロナ禍における緩和ケア診療の変化は、全てが我慢を強いられるものばかりではなく、新たな時代のきっかけでもある。そのヒントを皆さんと共有したい。</p> <p>日本緩和医療学会 緩和医療専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医 日本内科学会 認定内科医 日本在宅医療連合学会 評議員 (細則による必須領域 A , G , J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：大曲 貴夫(医師)

所属：国立国際医療研究センター 理事長特任補佐 / 国際感染症センター長 / DCC 科長
感染症内科医長併任

氏名：廣橋 猛(医師)

所属：公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院 緩和ケア科病棟長
がん治療支援・緩和ケアセンター長